

## 平成 19 年 12 月 教育委員会定例会会議録

### 1 開会の日時

平成 19 年 12 月 14 日（金） 午前 9 時 00 分

### 2 出席委員

奥寺	康彦	委員長
出光	ケイ	委員
齋藤	道子	委員
永妻	和子	委員（教育長）

### 3 欠席委員

三浦 溥太郎 委員

### 4 出席説明員

管理部長	大坂	茂夫
管理部総務課長	長澤	潤
管理部学校再編担当課長	奥田	幸治
管理部教職員課長	阿部	信行
管理部総合高校担当課長	井上	昭
生涯学習部長	外川	昌宏
生涯学習部生涯学習課長	永塚	高行
生涯学習部学校教育課長	渡辺	浩
生涯学習部学校保健課長	横山	治久
生涯学習部スポーツ課長	大場	智和
教育研究所長	阿部	優子
中央図書館長	根本	博行
美術館美術館運営課長	森山	武

### 5 欠席説明員

管理部学校管理課長	高田	利男
自然・人文博物館博物館運営課長	柳田	泰光

### 6 傍聴人 1 名

### 7 議題及び議事の概要

委員長 開会を宣言

委員長 本日の会議録署名人に齋藤委員を指名した。  
本日の議案は人事案件のため秘密会とすることを提案、  
「総員挙手」をもって秘密会とすることを決定。

教育長報告

前回の定例会から本日までの報告事項

(永妻教育長)

平成 19 年 11 月 16 日から本日までの所管事項についてご報告いたします。

はじめに芸術鑑賞会についてです。これは優れた演奏や作品を鑑賞することで、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、文化都市横須賀の将来の担い手の育成に寄与することを狙いとして実施しております。

12 月 5、6、7 日に 3 日間、3 公演で、市内全中学校の 1 年生 3,430 人を対象に、日本オペラ協会により歌劇「夕鶴」の鑑賞会を実施しました。年間では、この他、7 月に全小学校 5 年生を対象としたオーケストラ鑑賞会、5 月から 12 月にかけて全小学校 6 年生を対象とした美術作品鑑賞会を実施しております。アンケート結果では、いずれの鑑賞会も子どもたちの満足度は高いと推測しております。

つづきまして研究委託事業についてです。

各学校では、日頃から子どもたちの学力向上の実現や、家庭や地域との連携などに対応するための研究活動を進めております。

そのテーマは昨今の教育課題、例えば「支援教育」や「指導と評価」、「異校種間連携」、「地域連携」、「学校評価」などのほか、各校が独自に設定したものなどがあります。今年度は 13 校が研究発表会を行い、多くの参会者を集めました。研究成果は自校での授業に実践されるほか、発表会やホームページなどを通して他校へも広く発信し、その成果を共有しております。私も数校の研究発表会に出席し、その成果を確認して参りました。機会がありましたら、他の教育委員の皆様にもこの研究発表会や、先ほどご報告いたしました芸術鑑賞会へもご参加していただきたいと思っております。

最後になりますが 11 月 29 日から 13 日間の会期で横須賀市議会第 4 回定例会が開催されました。教育委員会が所管されております教育経済常任委員会は 12 月 5 日に開催され、委員からは活力ある教育委員会になってもらいたいとの要望のほか、コミュニティセンター条例に関する質問などがありました。

また 12 月 11 日に本会議 2 日目が開催され、同日に提案されました齋藤道子教育委員の再任議案も全会一致で同意され、第 4 回定例会は閉会しました。

以上です。

(質問等なし)

(委員長) 報告事項を聴取することを宣言

報告『横須賀市指定重要文化財の諮問について』及び『平成 19 年度文化財保護周知啓発事業について』

(生涯学習課長)

はじめに横須賀市指定重要文化財の諮問についてです。

今年度、文化財専門審議会で横須賀市指定重要文化財候補の審議を行ったところ、新たに 7 件の文化財が指定に相応しいという結果になりました。それぞれの文化財について詳細調査を行いましたので、その調査結果に基づき、別紙諮問書(案)のとおり、平成 19 年 12 月 19 日開催の文化財専門審議会に諮問しますのでご報告いたします。

7 件の文化財の概要は次のとおりです。

まず、1 件目は「盛福寺山門 1 棟」です。これは、田浦 5 丁目にあります盛福寺の山門であり、16 世紀末から 17 世紀初頭に建立された横須賀市内最古の山門です。2 件目は、「鉄造薬師如来立像 1 軀」です。これは緑ヶ丘 2 丁目の良長院閻魔堂に安置されている室町時代の仏像です。高さ 55cm の小振りで素朴な仏像ですが、鉄造の仏像としては市内唯一のものです。3 件目は、「満昌寺襖絵 16 面」です。満昌寺本堂の襖のために、狩野派の絵師が幕末に描いたものです。雲龍図 8 面、山水図 4 面、松虎図 4 面があり、いずれも墨絵であり、松虎図の虎のみ着色されています。市内を代表する襖絵であり、特に雲龍図は優れています。現在は倉庫に保管されていますが、11 月 2、3 日に満昌寺で一般公開したところ、350 名の見学者がありました。4 件目は、「石井穎一郎氏寄贈近代造船所建築図面資料 230 点」です。これは、横須賀製鉄所建設当初のドックの図面など、近代日本の造船所建築に関わる非常に貴重な図面類です。浦賀ドックや横浜のドックの図面も含まれています。石井氏から寄贈を受け、現在博物館で保管しております。5 件目は、「会津藩士と家族の墓碑 3 カ所 28 基」です。市内には 4 カ所 51 基の会津藩士と家族の墓碑があります。このうち本市が所有している腰越墓地のみ史跡に指定しています。会津若松市との姉妹都市締結により交流事業も増え、指定以外の 3 カ所についても指定して保護していく方針です。対象となるのは、(1)圓照寺の墓碑 6 基、(2)西徳寺の墓碑 11 基、(3)能満寺の墓碑 11 基です。6 件目は、「長井町荒井の道切り」です。道切りとは疫病や災厄が村に入ることを防ぐため

のバリアです。しめ縄に蛇・刀・ぞうり・サイコロをつるして、村境の3カ所に張ります。市内では長井の荒井にのみ残されている貴重な風俗習慣で、毎年5月15日に行われます。最後は「かろうと山古墳 1基」です。径が14m×13mの楕円形状の円墳です。遺体を埋葬した施設は切石組の箱式石棺で県内最大規模です。三浦半島最後の古墳でもあり、過去の調査では全国的に見ても希少な金銅製の副葬品が出土しました。古墳の位置は、横須賀リサーチパーク入口のトンネルの真上です。横須賀リサーチパーク建設の際に、本市と京浜急行が協議し、古墳があることから当初の開削計画をトンネルに変更して保存を図った古墳です。以上で、横須賀市指定重要文化財の諮問についての説明を終わらせていただきます。

続きまして平成19年度文化財保護周知啓発事業についての説明をいたします。

まず、1番目としまして、「第36回神奈川県文化財保護ポスター」についてです。これは毎年神奈川県が実施している文化財保護ポスター展に、市内中学校10校から22点が応募しました。選考の結果、本市からは浦賀中学校の生徒の作品1点が優秀賞に選ばれました。優秀賞は5点です。11月1日から、県内各地で展示会があり、作品が返却されましたら、来年1月21日から25日まで市役所1号館1階の展示コーナーで本市の応募作品すべての展示を行う予定です。

2番目としまして、「市内近代化遺産見学会」についてご報告いたします。「近代化遺産の日(平成17年度に本市で開始した同協議会総会で決定・毎年10月20日)」前後に実施される「全国近代化遺産一斉公開事業」にあわせ、18年度から始めた見学会です。募集をおこなったところ50名の応募があり、大型バスで「夏島砲台」-「貝山緑地」-「貝山地下壕」-「海軍航空技術廠本庁舎跡地」を見学しました。

3番目としまして、「市内重要文化財・史跡見学会」についてです。文化財保護強調週間(11月1日～7日)にあたる11月2日に三浦一族ゆかりの満昌寺・清雲寺・満願寺を徒歩で訪ね、国重要文化財4件、県指定重要文化財1件、市指定重要文化財と史跡8件、先ほどご説明しました、今回、指定候補にあがっております満昌寺の襖絵なども見学しました。当日は20名の市民に参加いただきました。

4番目としまして「第28回横須賀民俗芸能大会」についてです。11月18日の日曜日に文化会館大ホールで開催しました。今年度は市制施行100周年を記念し、規模を拡大して開催しました。横須賀市民俗芸能保存協会加盟の10団体と、市外からの招待団体3団体の併せて13団体が出演しました。各団体の発表前には、それぞれの芸能の解説やそれにまつわる話を2人の解説者の方にお問い合わせの構成で実施しました。また、民俗芸能の伝承者

として長い経験のある方 17 名と民俗芸能を習熟して後継者育成に貢献している中学校の生徒 10 名に教育長より表彰状を贈呈しました。4 時間半におよぶ大きな大会となり、入場者数は 1,175 名を数えました。以上で報告を終わります。

( 齋藤委員 )

横須賀市指定重要文化財の諮問の答申はいつ頃になるのか。

( 生涯学習課長 )

事前に調査は進めているので、次の文化財専門審議会が開催される予定の 2 月下旬には答申をいただけたと考えている。

( 出光委員 )

幾つか見学会が実施されたようだが、参加者の年齢分布はどうだったのか。また満昌寺の公開を行ったとのことだが、その実施の広報はどのようにおこなったのか。

( 生涯学習課長 )

60 歳代くらいの人が多かった。見学会は徒歩で回ることとなる。40 歳代くらいの人々の参加もあった。満昌寺の公開については、見学会の実施日と広報よこすかに掲載するタイミングが合わなかった。

( 出光委員 )

これら文化財を後世に伝えていくためにも、見学等が実施されることは広く周知するようにしてもらいたい。

( 生涯学習課長 )

今回の反省を踏まえ、文化財の公開をするような場合には、事前に所有者と打合せを密にするよう申し合わせた。

( 他に質問なし )

その他

( 永妻教育長 )

3 点説明をいただきたい。1 点目は横須賀美術館です。美術館は開館までに賛否両論いろいろあった。開館後の約半年を経た現在の運営状況を説明して欲しい。

2点目は研究委託事業についてです。研究委託のテーマはどのように設定しているのか、また、それに係るスーパーバイザーと学校との日頃の関わりはどうか。

3点目は教職員の研修の実施状況を説明して欲しい。

(美術館運営課長)

開館以来、横須賀美術館への入場者数は約31万5千人、そのうち、チケットを要する観覧者は約14万人である。観覧料収入は予測の160%であり、年間パスポート券の発行枚数は約450枚である。館へのリピーターを調査したところ、最大で42回来館していただいている方もいる。多くの方も3回、4回、5回とお越しいただいている。現時点では開館後、約8カ月のデータであるが、今後は年度末までに来館者の集計をし、精査したうえで改めて教育委員会会議の場で報告する予定である。

(学校教育課長)

研究委託事業は、校内研究の各小学校、中学校が学校力を高めるために、各校独自のテーマを設定し研究を行っている。その他、教育委員会としても課題を認識しているので、具体的にフロンティア、チャレンジ研究として今日的な課題について、教育委員会から各学校へテーマを提案し研究してもらっている。研究委託には幼稚園を含め全学校が何らかのテーマを設定し、全ての教員が携わり研究を行っている。また研究委託実施校の成果は、研究発表会を行う以外に、その結果を全校に配布し、各校で再度の検証が行われている。

(教育研究所長)

教員の研修については、経験年数に応じ、初任者、2年次、6年次、11年次、21年次で、それぞれ教員の経験に合わせた研修を行っている。児童生徒理解に基づいた授業力向上、学級・学校経営を主な目的としている。その他、管理職やグループリーダー、司書教諭、養護教諭等、職種に応じ実施している。また夏季に集中して各自が選択できる講座も行っている。

(齋藤委員)

美術館の来館者からの意見聴取はどのように行っているのか。また、その意見の傾向はどのようなものか。

(美術館運営課長)

アンケートは館内2箇所で開館以来常時行っている。実施場所には机と椅

子を用意し、アイデアや提案も受け入れる内容にしている。来館者からの意見は即座に美術館運営課職員に回覧し、目を通させるようにしており、可能な限り改善していくよう努力している。

意見の傾向は、休憩スペースの増や、案内サインや接客、レストランやショップへの要望もある。レストランやショップは市の直接の運営ではないが、定期的に改善の打合せを行っている。

その他

(出光委員)

先日、法務省主催の法教育のシンポジウムに参加した。法を知る、法を勉強するということは、応用力や思考力を高めるひとつの道筋と感じた。今後、法教育に関する内容が学習指導要領に盛り込まれるかどうかは別として、これに対する取り組みを検討したらどうかと感じた。

(生涯学習部長)

最近の児童生徒は知識を持っている。しかし、その知識を活用するには体験が必要であると考えている。児童生徒の表現力、思考力、判断力の向上については、引き続き力を入れなければならないと感じている。

他に質問等はなく、議案が人事案件のため秘密会となることを宣言。関係理事者以外の退席を求めた。

(秘密会)

## 8 閉会及び散会の時間

平成 19 年 12 月 14 日 (金) 午前 10 時 15 分

横須賀市教育委員会

委員長 奥 寺 康 彦